

卒業研究作成にあたっての注意事項

文化構想学部

卒業研究は以下のルールに従って作成（製本）してください。ただし、論系によっては独自の取り決めを設けている場合がありますので、必ず指導教員または論系室に確認し、その指示にしたがってください。

【製本】

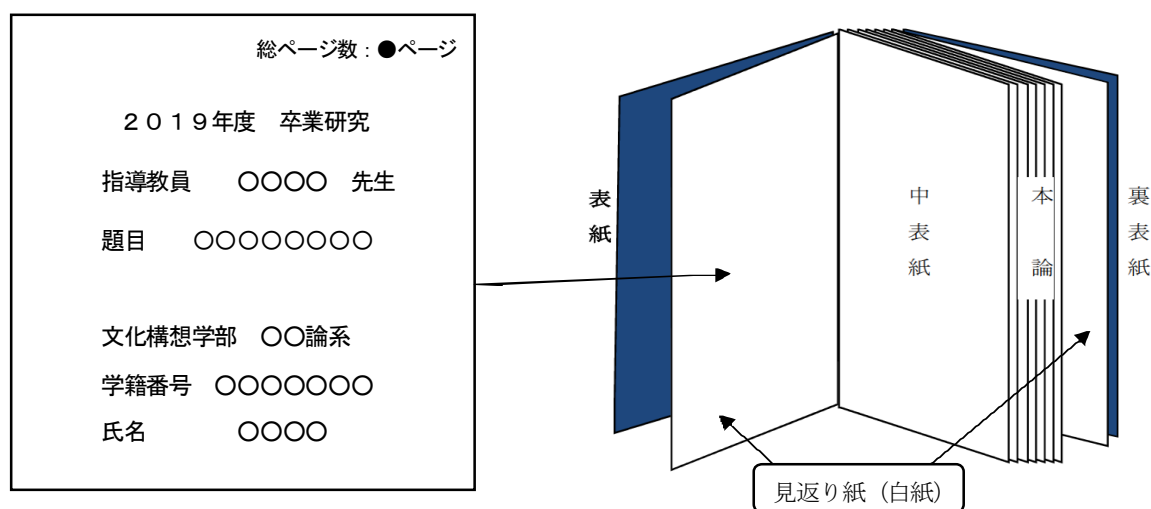
- ・製本はハードカバー製本（上製本）またはソフトカバー製本（くるみ製本）とする。
※映像作品など創作が主体の卒業研究の場合は、それに添付するレポートは簡易製本（紐綴じ・ステイプル製本等）でも可とする。
- ・用紙サイズはA4またはB5とする。
- ・表紙に記入済みの「卒業研究表紙シール」を貼付する。（表紙シールは所定期間に文学学院事務所にて配付）

【体裁】

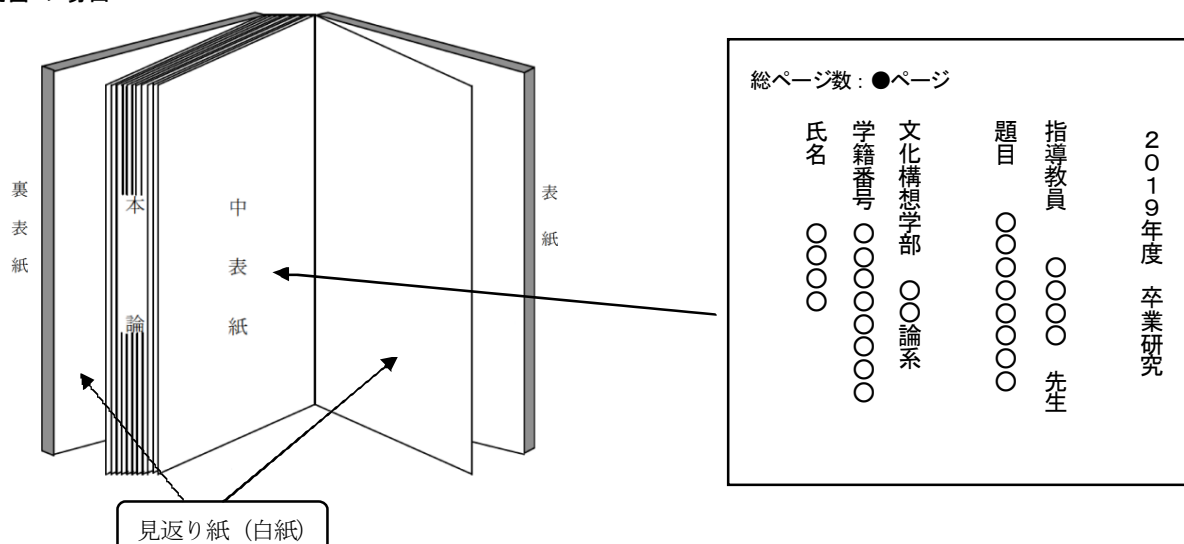
- ・1. 表紙（オモテ面に表紙シール貼付）、2. 見返し紙（白紙）、3. 「中表紙（以下の図の内容を記載）、4. 本論、5. 見返し紙（白紙）、6. 裏表紙 の順序とする。
- ・本論部分における、序論・目次・本文・注釈・参考文献一覧等、論文の構成については、学部として指定しない。指導教員の指示または所属論系の方針にしたがうこと。
- ・文字数・ページ数は、学部として指定しない。指導教員の指示または所属論系の方針にしたがうこと。
- ・ページ番号については、序論・目次・本文のどこからふっても可とする。

【図】

横書の場合



縦書の場合



【その他留意事項】

- 手書きで作成する場合、筆記用具は黒か青のボールペン、万年筆を使用すること。
 - 原稿用紙を使用する場合、一般的にはB 4 判（2つ折り＝製本時B 5 サイズ）を用いることとする。学部指定の原稿用紙はない。
 - P Cで作成する場合、機器故障やデータの破損、消失等による提出の遅延は一切認めない。必ずバックアップ等の保全処置を講じておくこと。
 - 製本を行う業者の指定はない。大学生協や商店街にある文房具屋など各自で依頼すること。
 - 事務所に題目を提出する必要はないが、論系で提出を求めている場合があるため、指導教員もしくは論系室に確認すること。
 - 提出された卒業研究の題目・学生氏名は各論系の刊行物・ウェブサイトに掲載することがある。不明な点は所属論系室に問い合わせること。
- ※ゼミ論文の提出（日時・場所・提出先）については、所属する論系やゼミ指導教員の指示にしたがうこと。

以上